

特集：冬を食べつくす

# 天然生活

## 冬を食べつくす

高山なおみさんの好きな肉料理  
牧田敬子さん 冬野菜料理の基本  
塩味としょうゆ味 引き算の料理  
毎日食べたい おかずスープ

## 思い出の残し方

旅の記憶を残す5つの方法  
天然生活の写真教室

井上アコさんのだれかにあげたい贈り物  
スイス国境近くの村へ カレンドラの花を探しに。  
キッチンのエコ・クリーニング  
おばあさんの知恵に教わる 植物お風呂の楽しみ



特別付録  
天然生活オリジナル  
旅手帖で思い出をカタチに。



「小さなこだわり  
小さな暮らし」

1

JAN. 2007  
VOL.24

定価 590円



自宅のキッチンで石鹸をつくるエスタさんと、末娘のマイヤーちゃん。15カ月。彼女はアップルサイダービネガーをバスタブに200ml入れて入浴。このほかに、11歳と9歳の女の子がいる(左)。メルボルン市民の足、トラム(右上)。世界中の植物が集められたという王立植物園。Birdwood AV South Yarra VIC 3141(右下)

## オーストラリア・オーガニックを探す旅 秋のメルボルンで出逢った エスタおばさんの手づくりコスメ

最近のオーストラリアは、ちょっと違う。魚でも肉でも食事はおいしいし、ワインだってあなどれない。しかも、ここメルボルンでは普通の人がつくったオーガニックコスメを使うことがブームになりつつあるという。

撮影/安部まゆみ コーディネート/井口世津子 協力/オーストラリア・ビクトリア州政府観光局、カンタス航空

「口コミで人気上昇中。植物うまれのスキンケアをつくつていたころなのよ」。わずかに3日前に知り合ったばかりだというのに、エスタさんはとても気さくに私たちを迎え入れてくれた。中に入ると何種類ものアロマが混ざった香りが漂っている。それは、いま笑かっている香りではなく、長い歳月をかけて家に染み付いたにおいなんだと気づく。彼女は、口コミで人気上昇中の手づくりコスメブランド「マルカ」の開発者兼オーナー。メルボルンのセント・キルダで毎週日曜日に開催されるサンデーマーケットに「マルカ」は出展しているのだ。「一年ほど前、主人の仕事でドイツに住んでいたときに、アロマの匂いになって、気づいたら自分でスキンケアをつくっていました。メルボルンに戻ってから、セント・キルダのサンデーマーケットで、本格的に『マルカ』として売りはじめたんです」。セレクトショップに卸してほしいという話もいたけれど、好きなペースで作業できるいまはまだ十分。3人の娘たちが小さい間は家族と過ごす時間を大切にしたいから、と話すエスタさんの足元では、末娘のマイヤーちゃんが抱っこをせがんでいた。

口コミで人気上昇中。植物うまれのスキンケア



「マルカ MALKA」とは、ヘブライ語で女王の意味。女王のような気分で肌の手入れをしてほしいから、と名づけたそう。でき上がった石鹸は、まるでケーキ。シアバター、ハチミツ、蜜蝋、アーモンド油、フレンチクレイが主な成分(左上、左下)。クリームやクレンジングにはさまざまな植物成分を使用。なかにはスイカのクレンジングも！(上) 卵の形をしたものはエスタさん発明の「軽石せっけん」。乾いた肌にそのままのようにこすりつけて角質を除去。シトラスの香り(右上)。セント・キルダの店頭にて。セント・キルダは、ポート・フィリップ湾に面したおしゃれなビーチエリア。週末になると多くの人でにぎわう(右下)。マルカの商品はネットでも購入可。  
[www.malka.com.au](http://www.malka.com.au)

